

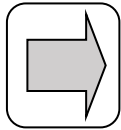
徳島県内経済情勢報告

令和 7 年 10 月



財 務 省
徳 島 財 務 事 務 所

徳島県内経済情勢報告

	令和7年7月判断	令和7年10月判断	総括判断の要点	7月判断との比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している 【4期連続据え置き】	個人消費は、観光が回復しているほか、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアで堅調となっていることなどから、全体としては緩やかに持ち直している。 生産活動は、はん用・生産用・業務用機械が緩やかに持ち直しているものの、化学が回復に向けたテンポが緩やかになっていることから、全体としては持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。 雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。	

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

項目	令和7年7月判断	令和7年10月判断	7月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している 【4期連続据え置き】	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている 【3期ぶり下方修正】	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある 【6期連続据え置き】	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を上回る見込み	

※ 7年10月判断は、前回7年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

緩やかに持ち直している

- 百貨店・スーパーは、飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、アイスクリームや飲料等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「百貨店・スーパー」

- 物価高による商品単価上昇に伴い、買上点数は減少している。特売日やポイントデーに消費が集中する傾向が依然として続いており、節約志向は根強い。

- 中食需要や時短ニーズにより、半調理品や冷凍食品、総菜全般の動きが良い。特に総菜に関しては、猛暑の影響で家庭での調理が敬遠されたことも好調の一因となった。

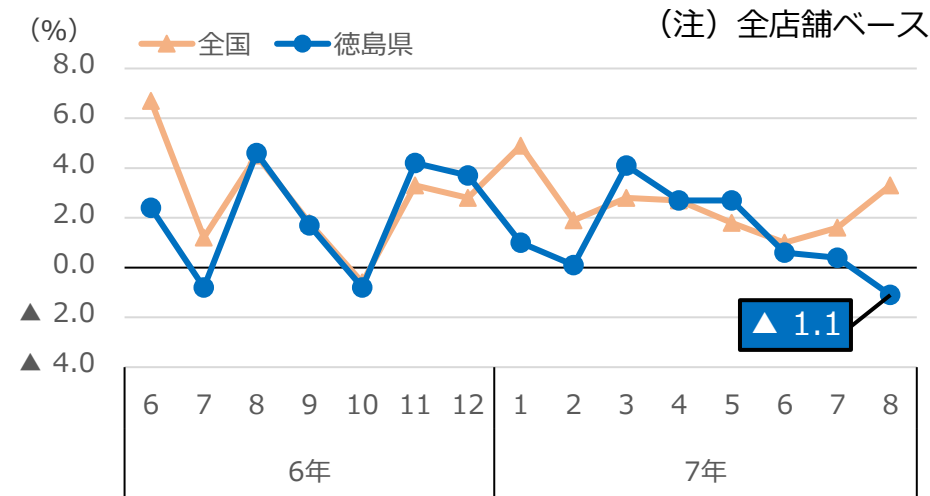
- 昨年8月の南海トラフ地震臨時情報発令や台風による買いだめ需要の反動から、売上高の前年比は伸び悩んでいる。

「コンビニエンスストア」

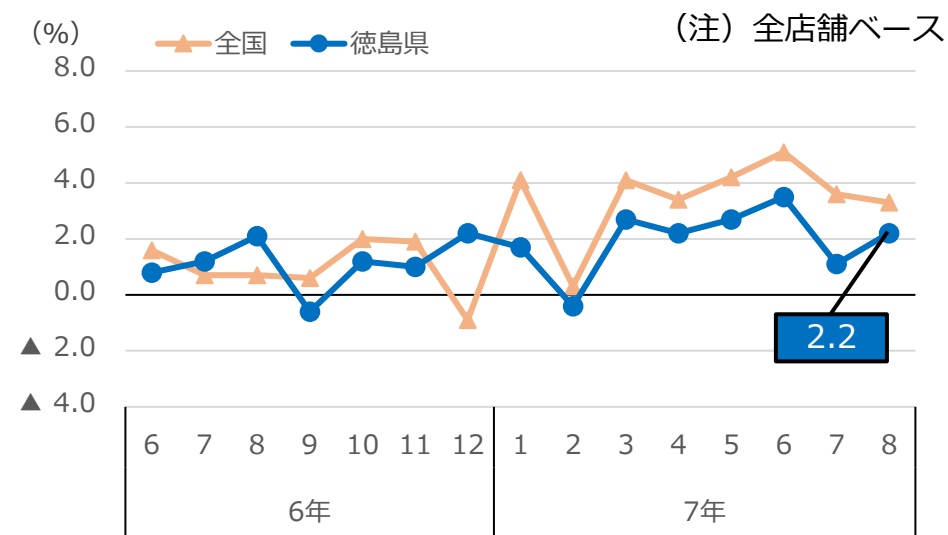
- 値上げによる商品単価の上昇と、8月に関しては阿波踊りによる人流の増加が、売上げに好影響を及ぼしている。

- 猛暑の影響により、調理麺やカフェ、アイスクリーム、ソフトドリンクなどが好調であった。

〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、飲料等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- ホームセンターは、防災用品の動きが鈍いものの、冷感商品に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。
- 家電大型専門店は、エアコンの動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、軽乗用車が前年を上回っているものの、普通車、小型車が前年を下回っていることから、全体としては前年同期（7～9月）を下回っている。
- 観光は、国内観光客が増加していることから、回復している。
- 旅行は、国内旅行は緩やかに回復しつつあり、海外旅行は緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

「ホームセンター」

- 昨年8月の南海トラフ地震臨時情報発令に伴う需要増の反動減がみられる。

「家電大型専門店」

- 家電大型専門店は、例年よりも早い梅雨明けと気温上昇の影響により、需要の前倒しとなったエアコンの動きが鈍い。

「観光」

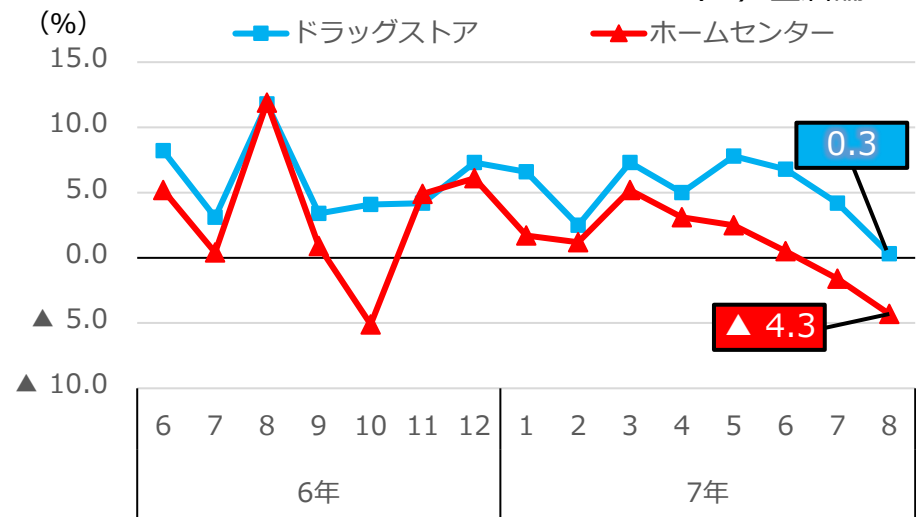
- 曜日配列や天候がよかったことから、お盆期間を中心に国内観光客の入込みが好調であった。クルーズ船で国内外から来県する観光客も入込増加に寄与した。

「旅行」

- 国内旅行は猛暑による動きの鈍さはありつつも、万博関連商品に動きがみられる。海外旅行は定期便により韓国行が引き続き好調。

〔徳島県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

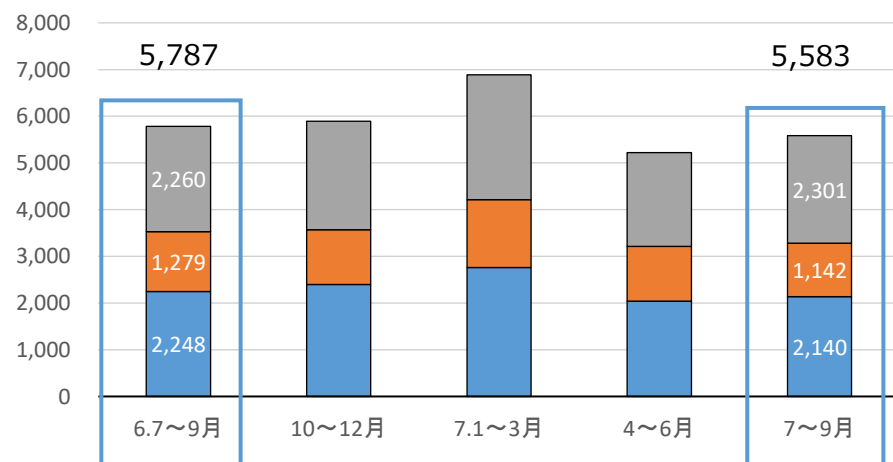
（注）全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

〔徳島県の乗用車新車登録・届出台数〕

■普通車 ■小型車 ■軽乗用車



【出所】（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会のデータから算出 3

生産活動

生産活動

持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

○化学は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。

○木材・木製品は、弱い動きとなっている。

○金属製品は、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

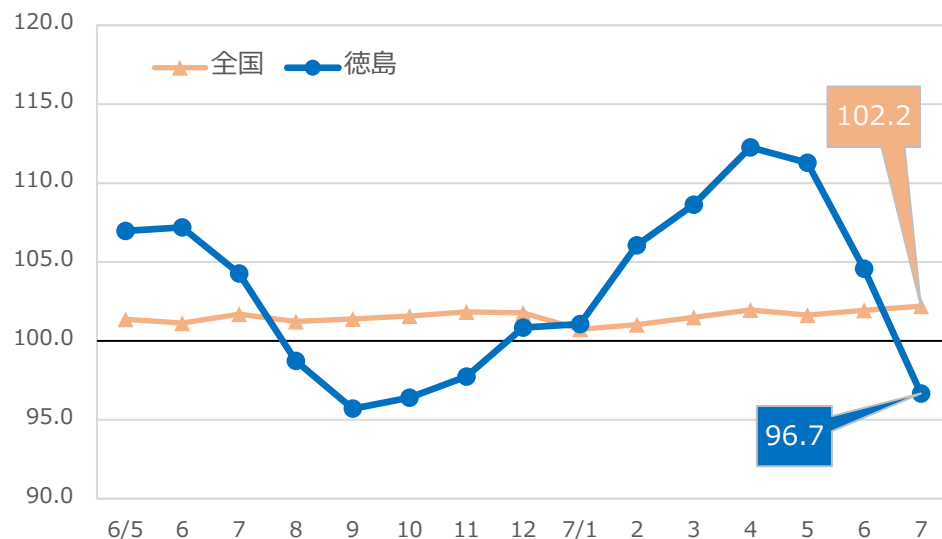
«化学»

○生産設備更新に伴う長期間の生産停止により、増産体制をとっていた前期よりも生産量が大きく減少した。足下では生産再開に向けて順調な動き出しとなっている。

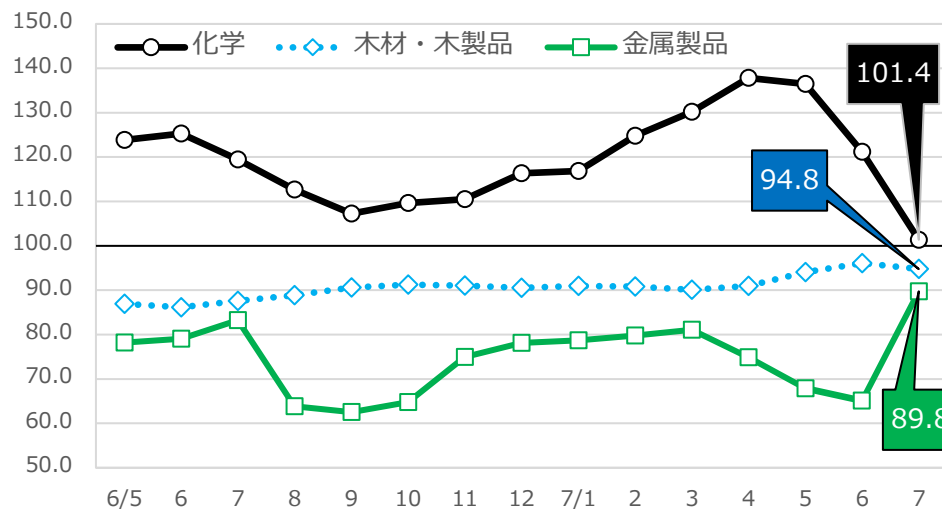
«金属製品»

○橋りょう部品等建設用金属製品の生産量が増加している。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年=100)〕



【出所】経済産業省、徳島県の公表データから算出



【出所】徳島県の公表データから算出

生産活動

○はん用・生産用・業務用機械は、緩やかに持ち直している。

○電気機械は、足踏みの状況にある。

○パルプ・紙・紙加工品は、緩やかに持ち直しつつある。

○食料品・飲料・飼料は、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

«はん用・生産用・業務用機械»

○生産用機械の受注状況は国内外ともに好調を維持。

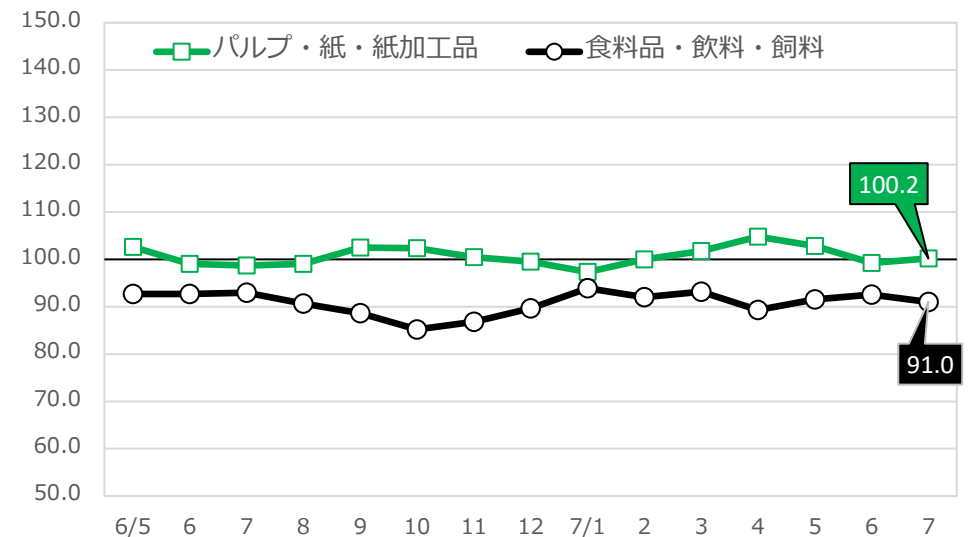
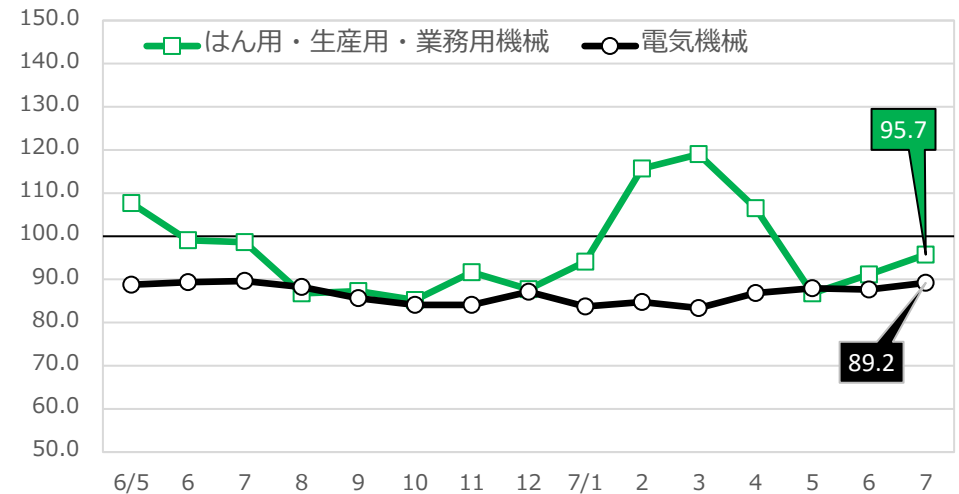
«電気機械»

○電子機器向けの需要は横ばい圏内の動きである。

«パルプ・紙・紙加工品»

○安定的な生産を続けていたが、印刷用紙の内需低迷に伴う減産がみられ始めている。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年 = 100)〕



〔出所〕徳島県の公表データから算出

雇用情勢

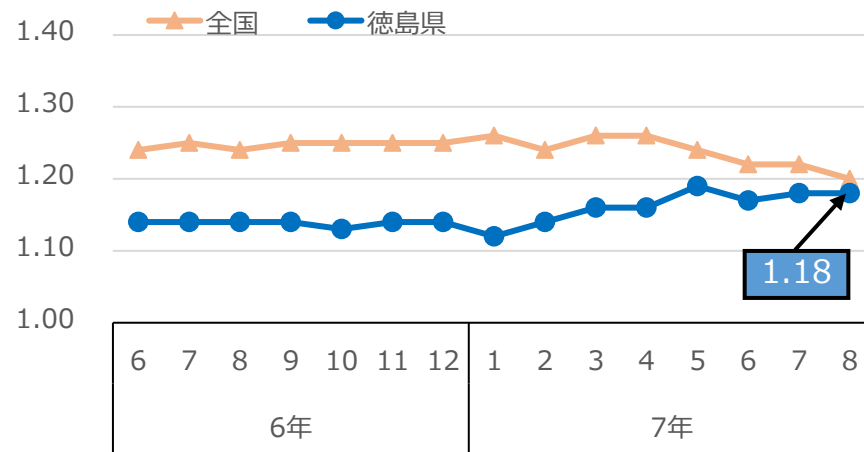
雇用情勢

緩やかに持ち直しつつある

- 有効求人倍率は、概ね横ばいの状況である。
- 新規求人数は、前年同期（6－8月）を上回っている。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕

（倍）



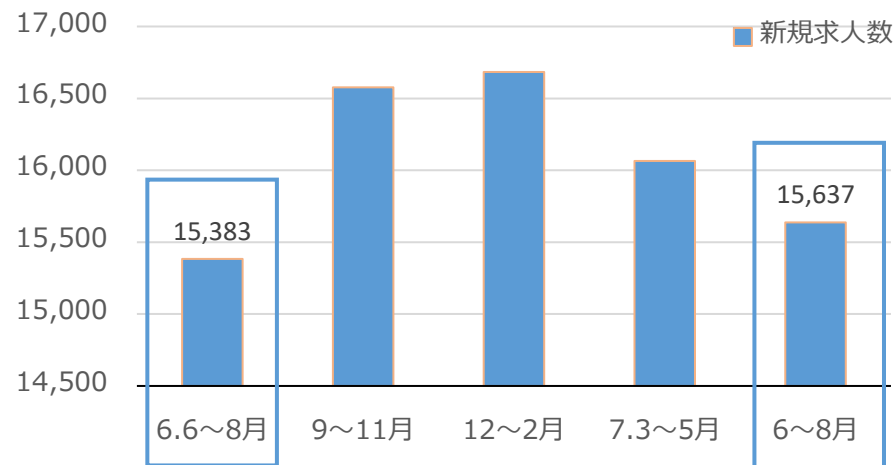
【出所】厚生労働省

〔主なヒアリング結果〕

- 前年同期比では、有効求人数はわずかに増加し、有効求職者数はわずかに減少している。
- 最低賃金引上げによる経営面への影響は懸念されているが、人手不足の声は多く聞かれており、今後最低賃金の引上げを直接的理由とした求人取下げが増加するとは考えられにくい。

〔新規求人数（原数値）〕

（人）



【出所】厚生労働省の公表データから算出

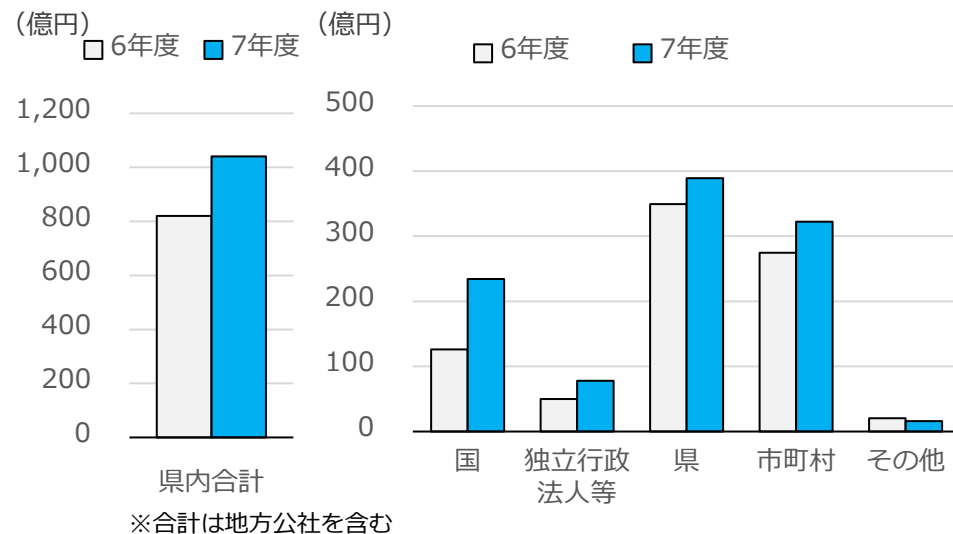
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度を上回っている

○前払金保証請負金額でみると、国、独立行政法人等、県及び市町村は前年度を上回っており、全体としても前年度を上回っている。

〔徳島県の公共工事前払金保証請負金額（9月累計額）〕



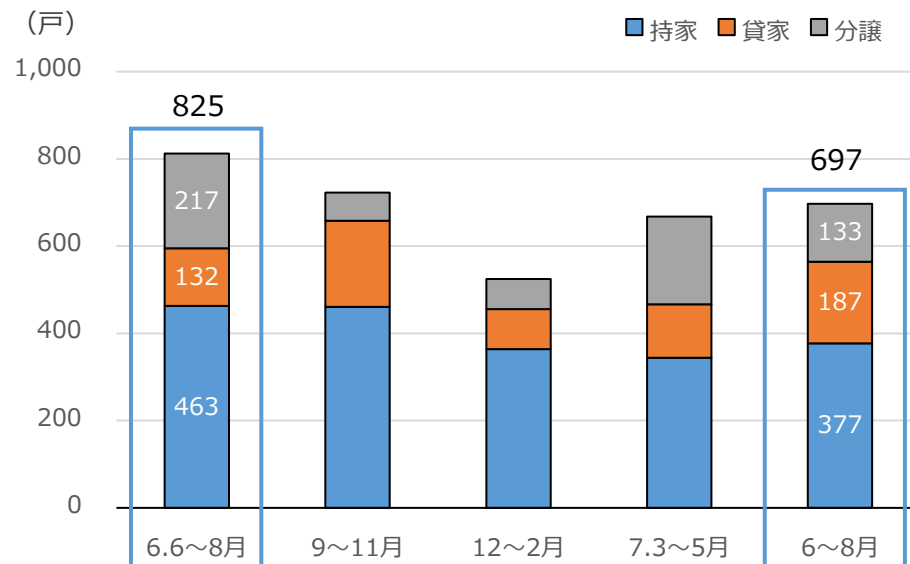
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を下回っている

○新設住宅着工戸数でみると、貸家で前年を上回っているものの、持家、分譲で前年を下回っていることから、全体としては前年同期（6－8月）を下回っている。

〔徳島県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む 【出所】国土交通省の公表データから算出 7

設備投資・企業倒産・消費者物価

設備投資

7年度は前年度を上回る見込み

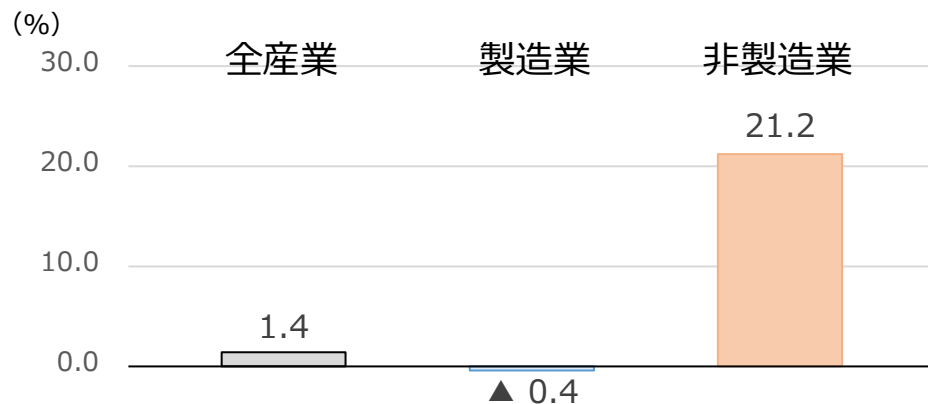
企業倒産

件数、負債総額ともに前年を上回っている

消費者物価

前年を上回っている

〔徳島県の実設備投資（前年度比）〕

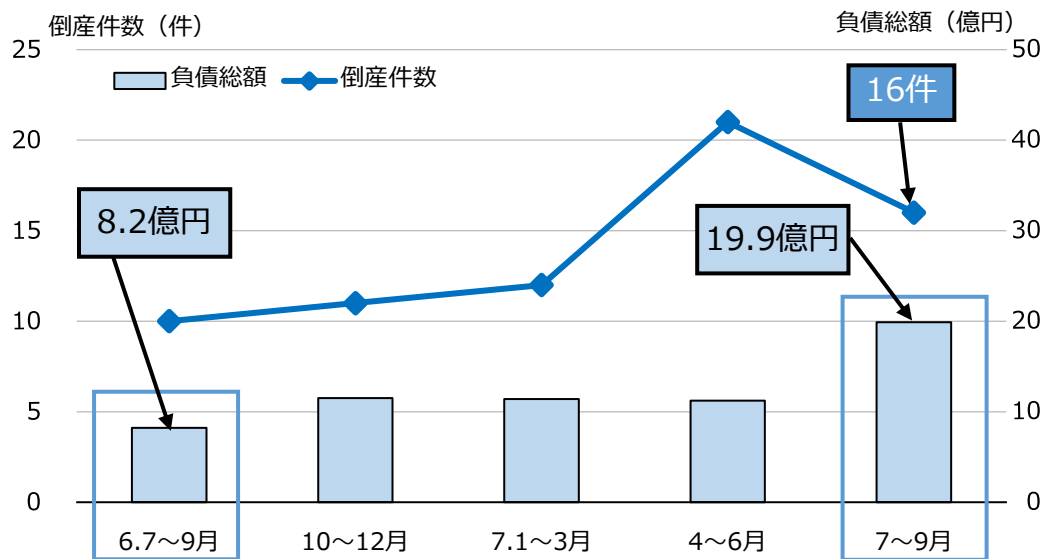


▲ 10.0

※7年7～9月期調査の結果

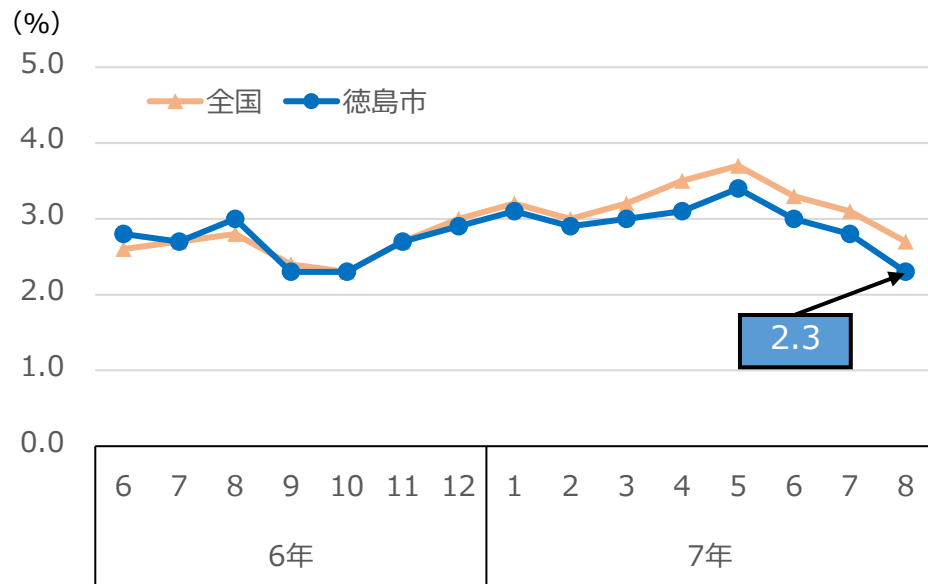
※ソフトウェア含む、土地除く 【出所】 徳島財務事務所（法人企業景気予測調査）

〔徳島県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】 東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比、2020年=100）〕



【出所】 総務省



すだちポン

●お問い合わせは

T E L (0 8 8) 6 2 2 - 5 1 8 1

総務課（内線 2 0 1） 又は
財務課（内線 2 1 0） へ

徳島財務事務所

<https://lfb.mof.go.jp/shikoku/tokushima/index.html>

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。